

食のプロと学ぶ 5つの味

11月5日 味覚の授業



味覚を五感で味わう大切さを伝える出前授業が豊科北小学校で行われました。当日は安曇野調理師会の皆さんが5年生85人へ塩味、酸味、苦味、甘味、うま味の5つの味の感じ方を説明。子どもたちは砂糖や自分で削ったかつお節などを口にし、じっくりと味わっていました。その後は、地元産の野菜を使ったみそ汁作りに挑戦。みその分量を班ごとに決めて調理し、味の違いを食べ比べました。かつお節を味わった谷川希帆さんは「意識して食べるといつもより味の違いを感じた。削りたては味が濃くて香りも強かった」と驚いていました。

旬の味に満腹 おいしさに感謝

11月1日・2日 信州安曇野食の感謝祭



安曇野林檎ナポリタンをはじめとする安曇野の魅力あふれる食が集まるイベントが穂高神社で開かれました。天候にも恵まれた本年は2日間で約3万人が来場し、ステージ発表や旬のグルメを楽しんでいました。また、セルフわさび丼のブースでは来場者が自らすり下ろしたワサビの味を堪能。後を引かない辛さとかつお節の絶妙なコラボレーションに舌鼓を打っていました。

ビールを楽しんでいた矢口優吾さん(29)は「飲みながらおいしいものを食べるのが毎年の楽しみ。天気も良くて最高」と満面の笑みを浮かべていました。

おいしそー! 歓声響くリンゴ畑

10月29日 三郷西部認定こども園リンゴ狩り



澄み渡った秋晴れのもと、三郷西部認定こども園の園児53人がリンゴ狩りを楽しみました。本年度9回目を迎えるこの体験は、園近くに住む中田平男さんの好意で毎年行われている恒例行事。園児たちは、小玉で細長く、この地域では珍しい品種・スリムレッドを笑顔でもぎ取っていました。塚田成美ちゃん(6)は「取るときにパキって音がしておいしそうだった。おうちでみんなと食べたい」と満面の笑みを浮かべ、中田さんは「園児のうれしいの声がうれしい。この地域のリンゴを好きになってほしい」と見守っていました。

線路跡にともる あたたかな光の列

10月25日・26日 安曇野APPLE HALLOWEEN



旧国鉄篠ノ井線廃線敷とJR明科駅周辺で安曇野APPLE HALLOWEEN(実行委員会主催)が開催され、おばけなどに仮装した家族連れなど大勢の人が、ジャック・オー・ランタンで飾られた廃線敷やマルシェを楽しみました。会場では、リンゴをハロウィーン風に装飾するワークショップのほか、キッズダンスや太鼓の演奏も行われました。家族3世代で仮装して参加した相良夕希乃さん(明科出身)は「地元がにぎわってうれしい」と話し、娘の由佳莉さん(6)は「みんなで仮装するのが楽しい」と笑顔で楽しんでいました。

ゴールを目指して 全力疾走のち笑顔

10月19日 市民運動会

市民運動会が豊科・三郷・堀金地域で開かれました。当日は大勢の参加者が玉入れやパン食い競争などに出場。足の速さだけではなくチームワークやバランス感覚が必要な種目もあり、熱戦が繰り広げられました。豊科地域では半分に切ったペットボトルにボールをのせて落とさずリレーする「ペットハンター」が行われ、終始順位が入れ替わる展開に多くの人が声援を送っていました。ヘルメットや軍手を身に付け、水の入ったリュックサックを背負って走る「避難準備は大丈夫?」が行われた三郷地域では、大きなヘルメットをかぶった参加者が次々と笑顔でゴール。堀金地域でフィナーレを飾った地区公民館対抗リレーでは、各世代が全力でバトンをつなぎ会場の熱気は最高潮となりました。

金子優也さん・紗也さん・実莉也さん兄妹(豊科)は「台風の目の棒が重くて大変だったけれど、みんな一緒に走れて楽しかった」と笑顔。「避難準備は大丈夫?」で優勝した水木志乃さん(三郷明盛)は「声援が励みになってがんばれた。地域の運動会は大人も参加できるので、来年も参加したい」と喜んでいました。

